

予算特別委員会のもよう

予算案に対する各会派等の主な意見

賛成 自由民主党

令和4年度一般会計予算は、新型コロナウイルスの影響による収支等の動向を見極め、財政調整基金の更なる活用や事業の取捨選択を行うつつ予算執行することを求める。

■キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業について、前回参加できなかった飲食店が参加できる情勢が整い次第、早急に実施を。

■コロナ禍において、保育園の登園自粛要請をした場合でも保育料の返還がない。感染防止の観点から保育料返還に関しての一定のルールを規定することを要望する。

■受動喫煙防止対策のための墨田区基本指針では、屋内及び施設内の屋外での喫煙が対象で、屋外での受動喫煙防止に関する法令上の規定がない。条例等の整備と屋外喫煙所の増設を求める。

賛成 公明党

■社会状況の変化に的確に対応し、ポストコロナ等を見据えた施策を効果的・効率的に実施するため、事務事業の見直しや改善に向けた取組など、不断の努力に徹し、弾力的な補正予算の編成、執行となるよう求める。持続可能な行政基盤確立のためには、行財政改革の更なる推進が必要である。

■「SDGs未来都市」に恥じない多様性の創出として、パートナーシップ制度導入を改めて求める。

■DXについて、積極的に他区の先進事例を取り入れ、区民サービス向上に向け、変化に順応できるDXマインド醸成に尽力するべき。

■意見等は区民の声として受け止め、指摘した点については、十分しんしゃくの上、今後の区政運営に反映されることを強く望む。

反対 日本共産党

■区長は「喫緊の行政需要に対して優先的に財源を投入していく」とするが、区民税と特別区交付金100億円もの増収であるにもかかわらず、実際にはその多くが基金に積み立てられており、相変わらず暮らしに冷たい予算である。

■保健所では過酷な超過勤務が2年以上続いている。コロナ危機の教訓を踏まえ、保健所の体制強化、正規職員の増員を改めて求める。

■墨田区住宅基本条例に沿った住宅施策が行われていない。「住宅は人権・福祉」と位置付け、公的住宅の整備や家賃助成制度の創設等、住宅施策の抜本的拡充を。

■経済効率重視で自己責任を押し付ける新自由主義からの転換を図り、一人一人の命と暮らしを大切にする区政の実現を求める。

賛成 立憲民主党墨田区議団

■一般会計予算案について、エネルギー価格高騰による影響から区民生活を守るため、日本共産党の「編成替えを求める動議」には賛同するが、動議が可決されない場合は、行政運営を停滞させることはできないため、原案に賛成する。

■学校給食について、緊急時には政治判断で給食費無償化等を行い、経済的負担軽減を図るよう求める。

反対 墨田オンブズマン

■区長の予算に対する志向は、総じて現状維持かつ予算を使い切らずに基金への積立てという消極的なもので、コロナ禍で疲弊する区内産業を更に苦しめるものである。

■多額の寄付金が北斎基金に積み立てられているが、来館者数は激減しており、事業として成り立っていないとは言えないため、公金の円滑な運用とは認められない。

賛成 無所属

■区長は区民目線で行政サービスのデジタル化を図るとする一方で、出張所でのキャッシュレス決済導入は1か所に留まっている。より充実したDX推進を強く求める。

■現在、区立小学校25校中、20校で実施されている放課後子ども教室推進事業について、20校で実施できた要因分析等を行い、全小学校での早期実施を強く要望する。

予算特別委員会委員(16人)

- 樋口 敏郎 (自民党)
たきざわ 正宜 (自民党)
藤崎 こうき (自民党)
坂井 ユカコ (自民党)
中村 あきひろ (立憲墨)
堀 よしあき (無所属)
あさの 清美 (共産党)
佐藤 篤 (自民党)
加藤 拓 (自民党)
はねだ 福代 (公明党)
とも 宣子 (公明党)
高橋 正利 (公明党)
大瀬 康介 (墨田オ)
福田 はるみ (自民党)
おおこし 勝広 (公明党)
高柳 東彦 (共産党)

(○)委員長 (●)副委員長

主な質疑

すみだ郷土文化資料館の大規模改修事業について

隅田公園の再整備が進み、コロナ収束後には向島エリアに多くの観光客が回遊するようになってほしい。このエリアの郷土文化資料館における来年度の大規模修繕事業では、大学と連携した向島の歴史観光案内板のリニューアルを検討していくとあるが、具体的にどのようなものなのか。

平成23年度に設置されてから10年が経過しており、情報の更新や多言語対応等を進めたいと考えている。千葉大学と協議をしているところではあるが、更新に当たっては地元町会等のご意見も伺い、検討の場を設けた上で進めていく予定である。

水害時避難に係るマンションとの協定について

水害時の一時避難場所として協定を締結しているマンションが21件というのは非常に少ない。江戸川区はマンションと直接協定を結ぶのではなく、町会等と防災協定を結ぶ等の工夫をしている。様々な工夫や方法等を考え、実施していくべき。

今年度中に水害ハザードマップを改定予定であり、7月までに全戸配布を考えている。これに併せて、協定締結後の防災対策用資機材の交付というインセンティブも含め、全ての区民に対して協定に係る周知を徹底し、協定の件数を増やせるよう努力していく。

国民健康保険料の引下げについて

国保には、加入者に所得の低い人が多いということ、人頭税とも言える均等割により、他の保険制度と比べて保険料が高くなるなどの構造的問題がある。これを放置したまま、

保険料を繰り返し値上げすることは許されないが、この問題解決のためにどのような取組をしてきたのか。

国の医療保険制度の中で国民健康保険制度の位置付けがあり、国や地方自治体の公費負担等を含めて保険料で賄う分と公費で賄う分がある。そうした中、国の制度で全て保険料で賄うとされている部分について、区費を投入すること等で保険料の引下げについて考慮してきたという経緯がある。

子ども読書活動推進計画による割合は、平成30年度のデータで、中学校3年生が30・55%、小学校6年生が23%である。児童、生徒の読書率を高めることは、極めて重要と考えているが、このことについて学校ではどのような指導を行っているのか。

小学校高学年では、学校図書館を活用して図書の時間等を計画的に設定し、読書機会を持たせるなどの工夫をしている。中学生では、朝読書の時間を設定し読書時間を確保したり、本の内容をまとめた帯づくり等の機会を持たせるなど、読書への関心を高めていくような工夫をしている。

北斎美術館の来館者数を増やす取組について

北斎美術館は、墨田区に対する経済効果と地域貢献という理由から建てられたが、来館者数は減少傾向にあり、現在では、年間5000人を割っている。今後、来館者数を増やしていくために、どのような対応策を考えているのか伺う。

コロナ禍の影響で、全国的に美術館等は来館者数が激減しており、北斎美術館についても同様の傾向である。今後の集客策については、企画の内容、PRが大変重要であると考えている。来年度は特に「鬼」をテーマにした企画展を用意しており、魅力ある企画を充実させていきたい。

ファミリー世帯の区外転出を抑制するための対策について

ファミリー世帯の流出、転出超過というのは世代間のばらつきにつながるおそれもあり、地域力という観点からも、極力避けたいと考える。今後もそうした動きに対処していくべく、一定の施策は行っていくという考えなのか。

魅力ある公園の整備や、学力向上をしっかりと支援していく取組など、様々な施策をしっかりと準備していくことで、ファミリー世帯に転入していただき、それを持続可能なものとしていきたい。

主な委員間討議

食品ロス削減をSDGsモデル事業として推進することについて

各委員とも賛同の意向を示し、食品ロス削減の取組を新たに事業系のものにも拡充していくとともに、SDGsモデル事業として推進することを求めることで合意した。

委員間討議について

これまでの委員会審議では、議員が区長等に対して質疑を行うことが中心だったが、これに加えて、委員同士で討議を行い、議論を深め合意形成を図ることで、より実りある審議を実現することとしています。



令和3年度定例会2月議会 議決議案の審議結果											○賛成 ×反対	
件 名			会派名等 （ ）内は所属議員数								議決 結果	
			自民党	公明党	共産党	立憲墨	きずな	墨民主	墨田オ	新すみ		無所属
			(13)	(7)	(5)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)		(1)
区 長 提 出 議 案	予 算	令和3年度墨田区一般会計補正予算（議案第62号）	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
		令和3年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
		令和3年度墨田区介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
		令和4年度墨田区一般会計予算	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
		令和4年度墨田区国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
		令和4年度墨田区介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
		令和4年度墨田区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
		令和3年度墨田区一般会計補正予算（議案第84号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		令和4年度墨田区一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	条 例	墨田区附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区木造住宅耐震改修促進助成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区私道整備助成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
		墨田区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
		墨田区立校外学園条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区手数料条例の一部を改正する条例（議案第81号）	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
		職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区手数料条例の一部を改正する条例（議案第86号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
	契約	財産の取得の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	人事	墨田区監査委員選任の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	そ 他	墨田区亀沢保育園の指定管理者の指定について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
		東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
提出委員会	条 例	墨田区議会議員の政治倫理に関する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
提出委員会		墨田区歩きスマホによる事故等の防止対策の推進に関する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
提 出 議 員	意見書	「歩きスマホ」の禁止に係る法整備に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

会派等の所属議員

略 称	会 派 名 等	所属議員名（五十音順）
自 民 党	墨田区議会自由民主党	沖山 仁、加藤 拓、かんだすなお、木内 清、坂井ひであき、坂井ユカコ、佐藤 篤、しもむら緑、たきざわ正宣、田中邦友、樋口敏郎、福田はるみ、藤崎こうき
公明 党	墨田区議会公明党	おおこし勝広、加納 進、じんの博義、たかはしのりこ、高橋正利、とも宣子、はねだ福代
共 産 党	日本共産党墨田区議会議員団	あさの清美、高柳東彦、としま剛、はらつとむ、山下ひろみ
立 憲 墨	立憲民主党墨田区議団	渋田ちしゅう、中村あきひろ
き ず な	地域連合「すみだの絆」	田中 哲
墨 民 主	墨田民主クラブ	あべきみこ
墨 田 オ	墨田オンブズマン	大瀬康介
新 す み	新しいすみだ	井上ノエミ
無 所 属	無所属	堀よしあき

12月緊急議会を開きました

新型コロナウイルス感染症に係る「墨田区一般会計補正予算」を全会一致で可決

墨田区議会は令和3年度定例会12月緊急議会を12月23日に開会しました。

この緊急議会は、新型コロナウイルス感染症対策として、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業費と、子育て世帯等臨時特別支援事業費の追加に係る補正予算（70億700万円）を審議するため、緊急的に開いたものです。

本会議では、区長提出議案「令和3年度墨田区一般会計補正予算（第11号）」の提案説明があり、所管の企画総務委員会に審査を付託しました。同委員会では議案を審査した後、本会議において、全会一致で可決しました。



12月緊急議会のようす

緊急議会 議決議案の審議結果										
12月緊急議会では、区長提出議案1件について、全会一致で可決しました。										
予算		令和3年度墨田区一般会計補正予算(第11号)								

【今後の会議日程(予定)】

	会 議 名	開会時刻	傍聴席		
5月 20日（金曜日）	議会運営委員会	午前11時30分	17階		
5月 26日（木曜日）					
5月 27日（金曜日）	本会議（招集議会）	午後1時	19階		
6月 6日（月曜日）	議会運営委員会	午前11時30分	17階		
6月 10日（金曜日）					
6月 13日（月曜日）	本会議（6月議会初日）	午後1時	19階		
6月 14日（火曜日）	本会議				
6月 15日（水曜日）					
6月 21日（火曜日）	子ども文教委員会	午後1時	17階		
6月 22日（水曜日）	地域産業都市委員会				
6月 23日（木曜日）	区民福祉委員会				
6月 24日（金曜日）	企画総務委員会				
6月 29日（水曜日）	議会運営委員会	午前11時30分	17階		
6月 30日（木曜日）	本会議（6月議会最終日）	午後1時	19階		

※この会議日程は予定ですので、変更が生じる場合があります。

一議長と区長が共同で声明を発表しましたー

ロシアによるウクライナ侵略を非難する声明

ウクライナをめぐる情勢については、昨年末以来、国境付近におけるロシアの軍備増強が続く中、我が国を含む国際社会による、緊張の緩和と事態の打開に向けた、懸命な外交努力が重ねられてきたところであるが、2月24日、ロシアは、ウクライナへの侵略を開始した。

ウクライナでは一般市民を含む多数の死傷者が出ていることと、ロシアが核兵器の使用を示唆していることに対しては、我が国は唯一の戦争被爆国であり、第二次世界大戦における東京大空襲等により、多くの尊い命を失った経験を持つ墨田区として、強い憤りを覚える。

このようなロシアの行動は、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反である。

力による一方的な現状変更は断じて認められず、この事態は、国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態である。

よって、墨田区は、ロシア軍による侵略を最も強い言葉で非難するとともに、ロシアに対し、即時に攻撃を停止し、部隊をロシア国内に撤収するよう強く求めるものである。

また、政府におかれては、ウクライナに在住する邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、ウクライナの平和を一刻も早く取り戻すために、国際社会との緊密な連携を強く求めるものである。

令和4年3月3日

墨田区長 山 本 亨 墨田区議会議長 木 内 清